

2月3日(土)

10:00~11:00

「Continuity and Change-Atayal Education in Taiwan」 Yobu Losing(黄約伯)(台湾・中央研究院研究員)

11:00~12:30 ラウンドテーブル「この大地が歩んできた歴史と先住民族の権利」

萱野志朗(萱野茂二風谷アイヌ資料館館長) 葛野次雄(カムイノミ実践者) 八重樫志仁(浦河町アイヌ生活相談員)

阿部千里(アイヌ・先住民族電影社代表) Yobu Losing(黄約伯)

司会・モデレーター:Jeffry Gayman(北海道大学准教授)

14:00~15:00

「The making of multiculturalistic Society: the Case of Empowering Marriage Migrants in Taiwan」

夏曉鵬(台湾・世新大学教授、北海道大学外国人客員研究員)

15:00~15:30 「移民包摂をめぐる多文化主義論の再検討ー台湾を事例として」

高橋萌(慶応義塾大学博士前期課程)

15:30~16:00 「台湾で暮らす日本人が持つ多義性ー新住民としての在台日本人研究試論」

藤野陽平(北海道大学准教授)

16:00~16:15 コメント 夏曉鵬(台湾・世新大学教授、北海道大学外国人客員研究員)

16:15~17:00 総合討論

司会・モデレーター:清水賢一郎(北海道大学教授)

言語:日本語、英語(通訳あり)

シンポジウム

北海道と台湾における多文化共生 -先住民族、マイノリティ、移民-

日時:2018年2月3日(土)・4日(日)

会場:北海道大学情報教育館3F スタジオ型多目的中講義室

2月4日(日)

13:00~13:10 「北海道の多文化共生の特徴」

パイチャゼ スヴェトラナ(北海道大学助教)

13:10~13:40 「近代期北海道における朝鮮人の移住と定住化の形成過程とアイヌ民族の繋がり」

石 純姫(苫小牧駒澤大学教授)

13:40~14:10 「戦前北海道に暮らした亡命ロシア人ー露領漁業の基地函館の場合」

倉田有佳(ロシア極東連邦総合大学函館校准教授)

14:10~14:40 「ニセコにおける共生社会の歴史的土台ー有島武郎の影響からの考察」

ジョ アラ(北海道大学研究員)

15:00~15:30 「北海道に暮らすサハリン帰国者の多重アイデンティティー1950年代から現在まで」

パイチャゼ スヴェトラナ(北海道大学助教)

15:30~16:00 「新たな地域社会としてのニセコにおける多文化共生」

三崎圭美(北海道大学修士課程)

16:00~16:30 「北海道の外国人支援の現場から」

西 千津(カトリック札幌司教区難民移住移動者委員会スタッフ)

16:30~16:45 コメント 吉原和男(愛知大学国際問題研究所 研究員)

16:45~18:00 総合討論

司会・モデレーター:富成絢子(北海道大学准教授)

言語:日本語

主催:北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院附属東アジアメディア研究センター

メディア・コミュニケーション研究院「地域発展と多文化共生ー北海道と台湾の比較分析ー」共同研究プロジェクト

「北海道における先住民族の「知」の活用に関するアクション・リサーチ研究」(ARAIKHプロジェクト)

問い合わせ:東アジアメディア研究センター 芳賀 恵(eastasian2@imc.hokudai.ac.jp, 内線5143)